

文部科学省
2014年度スーパーグローバルハイスクール(SGH)指定
玉川学園高等部・中学部



Super Global High School since 2014

TAMAGAWA ACADEMY SGH PROJECT

玉川学園の創立理念である全人教育と国際教育の85年の実践を礎に、
世界の社会問題へ積極的に貢献できるグローバルな人材の育成を目指す挑戦です。

Research subject:

Awakening the Whole Person to Become Global Leaders of International Organizations

研究課題:

国際機関へキャリア選択する全人的リーダーの育成

玉川学園SGHプロジェクトとは？

1

世界の課題とつながる

グローバルキャリア講座や模擬国連活動、ワールド・スタディーズ、自由研究グローバル研究といったプログラムで、世界と自分とのつながりを見つけます。

2

世界を直接体験する

ボツワナと南アフリカで人権や貧困と闘う人々と触れ合うアフリカ研修や、ドイツで環境問題を体験するゲーテ校研修で、視野を広げる体験をします。

3

世界と関わる資質を養う

自己の興味や関心と向き合い、感性を育みます。また、英語力、コミュニケーション力といった国際活動に必要なスキルを実践的に身につけ、資質を養います。

玉川学園SGH研究開発計画の概要

国際機関や国際NGOでリーダーとして活躍するために必要なことは、多様な文化を理解し、世界の諸問題に興味を持つことです。その上で、正しい判断をし、強い意志を持って実行するためのコミュニケーション能力・語学力とリーダーシップを身につけることのできるカリキュラム開発を目指します。

玉川学園SGHでは、中学3年から高校3年までの4年間で、国際機関へのキャリア選択を実現する全人的リーダーの資質「調整力」「コミュニケーション力」「意志決定力」を養うグローバルな学習機会を提供していきます。

01 基礎養成ステージ Stage for Nurturing Basic Skills

玉川アドベンチャープログラム (tap) *高等部1年生は全員必修

グローバルキャリア講座

02 課題探究ステージ Stage for Exploring Issues

※A～Eの5つの探究テーマ群から1つを選びます

A. 貧困 アフリカン・スタディーズ グローバル・スタディーズ 模擬国連・MUN部 ワールド・スタディーズ	B. 人権 アフリカン・スタディーズ グローバル・スタディーズ 玉川国際会議 模擬国連・MUN部 ワールド・スタディーズ	C. 環境 アフリカン・スタディーズ 玉川国際会議 模擬国連・MUN部 グローバル・スタディーズ	C. リーダーシップ(外交) ドイツ・ゲーテ校研修 玉川国際会議 模擬国連・MUN部 ※リーダーシップ研修	E. 国際協力 ドイツ・ゲーテ校研修 玉川国際会議 模擬国連・MUN部
--	--	---	--	---

Tamagawa Super Global Leaders

国際機関へキャリア選択する全人的リーダーへ

関連するプログラム

玉川学園SGHの取り組みには、全員必修のプログラムと生徒個人が主体的に参加するプログラムがあります。国連や国際NGOの専門家、グローバルな取り組みをしている大学と連携して、生徒に世界の諸問題に対する関心を持たせ、国際問題の知識獲得と将来のキャリアイメージ、感性を育てます。ディスカッションやプレゼンテーションの機会を重視し、実践的なスキルとリーダーシップを養います。英語力をはじめとしたコミュニケーション力も重視します。



2014年7月、元外務省国際機関人事センター長の伊藤光子氏を迎えた第1回講座を実施。多くの生徒が国際機関への理解を深め、自分と世界との関わりを見つけるきっかけをつかみました。

グローバルキャリア講座

国内外のグローバルな大学や国際機関とのつながりを通して、世界の問題に関心を持ち、具体的なイメージを得るための講座です。各分野の専門家の講義で最新の国際情勢を知り、その後の活動のベースをつくります。グローバルなキャリアを選択するための最初のステップとなる取り組みです。

Scoring System Tamagawa Super Global Leaders 48

グローバルリーダーとしての様々な活動に主体的に参加できるように、学内での資格認定制度を導入します。
このプロジェクトで行う数々のグローバルな活動に対して生徒の活動を5分野に分け、参加数や活動内容に応じたポイントを発行します。



学年の違う生徒や初めて顔を合わせる仲間たちと交流し、共に世界の問題を考えてプレゼンテーションする体験は、将来につながる大きな力になります。

玉川国際会議(ラウンドスクエア実行委員会)

国際的な私学連盟「ラウンドスクエア」では、年に1回世界各国からおよそ300名の高校生が参加して国際会議を開催しています。本校では2013年夏、国際会議への参加経験を持つ生徒たちが中心となって、その日本版である「玉川国際会議」をスタートさせました。2014年は「Break Out of Our Shell」を会議のテーマとして、専門家による基調講演、グループディスカッション、奉仕活動を実施。ハーバード大学、イェール大学、トロント大学などの学生が所属する「GAKKOプロジェクト」のメンバーを招いたワークショップも行いました。



国際問題について繰り返しディスカッションすることで、専門知識や課題発見力、表現力、コミュニケーション力が身につけていきます。

模擬国連・MUN部

模擬国連は1923年にハーバード大学で始まり、日本には国際政治学者の緒方貞子さんによって広められました。玉川学園では正規授業として普通クラスとIBクラスで、英語を使って実施しています。国連での課題解決方法と同じやり方で、どのようにして英語で意見を伝え、相手を納得させるのかを学びます。



現地で初めて知るアフリカの現実。イメージとの違いを目の当たりにし、世界の多様性を知るとともに、自分自身で感じることや行動することの大切さを実感します。

玉川アドベンチャープログラム (tap)

人が大自然の中で鍛えられて成長する過程をヒントに、グループで課題に取り組み、信頼関係やリーダーシップを実践的に学んでいく活動です。アメリカの「プロジェクト・アドベンチャー (PA)」という教育手法を元にしています。高等部1年生は全員必修です。



tapは1997年から全学をあげて施設を整備、実施している活動で、各方面から高い評価を得ています。玉川大学学術研究所「心の教育実践センター」のもとで、専門のトレーナーによって実施されています。

アフリカン・スタディーズ(海外研修)

開発途上国の貧困や人権などについて学ぶ、12年生(高3希望者)を対象とした公民科の取り組みです。実際にアフリカ各地を訪れ、現地の人々との交流や周囲の環境から多くのことを肌で感じ取ります。この研修では、ただ出かけて終わりではなく、成果の振り返り(Reflection)と発表を特に大切にします。

この他にも正規授業の中で、自己理解や国際理解を深め、国際社会で活躍するために必要な力を身につける数々のプログラムを実施しています。

取り組みを体験した生徒たちの感想と、 担当教諭からのメッセージです。

学校のプログラムや海外での体験で実感したこと、
これからの目標についての声をご紹介します。



活動に参加するたびに自分の英語力やリサーチ力がまだまだだと感じて、
だからこそもっと勉強しようというモチベーションになりました。他の生徒からも
必ずインスピレーションを受けるので、この活動は自分にとって学校生活の中で
とても大きな存在です。(高等部2年女子/玉川国際会議)



始まったばかりのこの取り組みで、生徒たちそれぞれがどんな
ふうに成果を積み上げていけるかをみんなで話し合っています。
参加した全員に、これからの人生に大切な糧を得て成長して
いてほしいと思います。
(グローバル・スタディーズ担当教諭 坪井佑夏)

国連の仕事には関心があったけれど、ほとんど知る機会もないし、誰に聞いていいのかわ
らなかつたので、国連の方から実際に話を聞いて、どうやって国連職員になるのか、
どんな仕事なのか具体的にイメージできてよかったです。いろいろな国の立場で考えて、
ひとつのものをいろんな角度から見る力をもっともってつけていきたいです。(高等部3年
女子/グローバルキャリア講座)



玉川会議は自分の隠れた才能を発見できる場所だと思います。
みんなとの交流やディスカッションを通してどんどん新しい壁を
見つけては壊していく。自分も周りも高め合うことができるのが
大きな魅力です。(高等部2年女子/玉川国際会議)

思い切って自分の意見を言ってみると、それに対して
誰かが何かを返してくれます。そういうたくさんの活動体験
の中から、何が大切なのかを自分たち自身で見つけてほしい
と思っています。
(玉川国際会議・模擬国連担当教諭 横山絢美)



国連なんて遠い世界だと思っていましたが、グローバルキャリア講座で
元国連の方が話すのを聞いて、実は現実味のある選択肢なのかもしれない
と思いました。(高等部3年女子/グローバルキャリア講座)



学校生活の中で、みなさんは自然に国際的なセンスやスキル
を身につけています。ぜひ自分を信じて、ちょっとした勇気と
強い志を持ち続け、10年後の国際的な舞台上で活躍する人に
育ってくださることを願っています。
(グローバルキャリア講座担当教諭 峽合宗隆)



アフリカン・スタディーズに参加して、ボツワナでも日本でも同じような子どもの社会問
題が起きていて、今まであまり興味の無かった日本の現状が気になり、何とかしなければ
と思うようになりました。アフリカにしながら日本のことを考えているのも不思議な感じ
でしたが、この気づきは、もし将来どこかの国を助けようとした時にきつと役立つと思
います。(高等部3年女子/アフリカン・スタディーズ)

ラウンドスクエア玉川会議で身につけたリーダーシップを、大学生に
なっても社会に出てからも発揮できることが大事だと思っています。
学校の中だけで終わらせるのではなく、学んだことを他でも活かして
いきたいと思っています。(高等部3年男子/玉川国際会議)



玉川学園SGHに関するお問い合わせ：

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TSGH事務局 Tel : 042-739-8545 / Email : sgh@tamagawa.ed.jp

<http://sgh.tamagawa.ed.jp>



玉川学園は、私立学校のネットワークであるラウンドスクエアの日本唯一の
加盟校です。また2007年からは国際バカロレアコース (MYP・DP) を開設
しています。